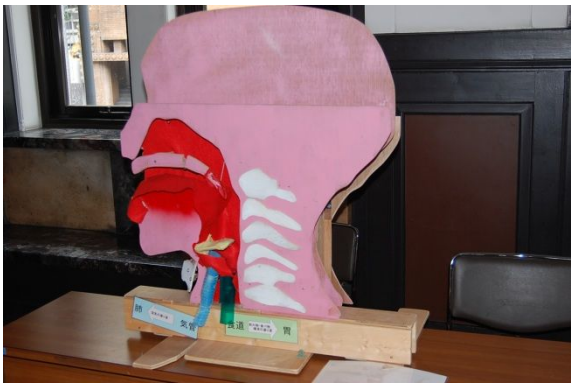
第 11 回神奈川摂食・嚥下リハビリテーション研究会
報告書

開催日時：2012 年 7 月 21 日（土）　午後 1 時～午後 5 時
開催場所：横浜市開港記念会館（神奈川県横浜市）
テーマ：あなたのハテナ？は私のハテナ？
　　～「食べる」にまつわるあなたの疑問にお答えします～
参加者：305 名
主幹：横浜北地区
共催：神奈川摂食・嚥下リハビリテーション研究会
　　アボットジャパン株式会社

製品紹介：アボットジャパン株式会社
開会の挨拶：
　赤羽重樹（横浜北地区世話人代表　西神奈川ヘルスケアクリニック）

教育講演（13：15～14：15）
座長：日立製作所　日立横浜病院　　品川　隆
「介護職のための摂食・嚥下の基礎知識」
森田病院　　宮下　剛先生
概要：
　自分が持つ情報や得た情報を、同僚、患者（利用者）、患者（利用者）家族に伝えるのは容易でなく、また自分の疑問を解決する方法もわからないことがある。「伝える」ことについては、嚥下の仕組みや誤嚥などの「みえないこと」は、イラストや模型、制限体験などで正確にわかりやすく相手に伝達する方法を、また自分の疑問解決のために、地域の勉強会に参加して知識や情報を得るとともに、顔がみえる関係を築いていくことの大切さも伝えられた。



特別講演（14：15～15：15）

座長：鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座　　菅　武雄

「認知症の食を支える基礎知識～認知症の方の食支援～」

東京都健康長寿医療センター　　平野浩彦先生

概要：

　要介護高齢者の「食」を支援するための議論は活発に行われており、「食」を取り巻く環境は改善の方向に向かっている中で、認知症の方の「食」を取り巻く環境にはこれらの恩恵が十分に届いていない。その大きな原因の一つに、支援側の「認知症への理解不足」がある。そこで、介護・福祉・医療従事者として認知症を理解するために①認知症の取り巻く環境②認知症の病態③認知症へのアプローチについて実症例をあげての講演であった。

パネルディスカッション（15：30～16：50）

座長：昭和大学外科学講座　小児外科部門　　千葉正博

「摂食・嚥下よろずや相談会」

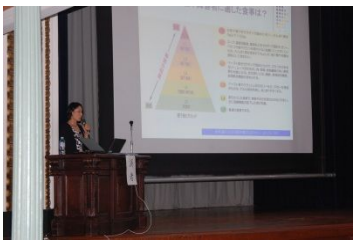
～あなたのハテナは私のハテナ～身近な疑問を皆で解決しよう！

西神奈川ヘルスケアクリニック　　赤羽重樹
ワタミの介護株式会社本社　　麻植有希子
森田病院　　宮下　剛
東京都健康長寿医療センター　　平野浩彦

概要：

「あなたのハテナは私のハテナ」は自分が持つ疑問は、他人も同様に思っていること、またそれを共有して皆で解決しようというのがメインテーマであった。パネルディスカッション開始前の休憩時間に、参加者にあらかじめ配布してあった質問用紙に教育講演・特別講演に対する質問や日頃の疑問を記入していただいて回収し、その中からいくつか選択しパネラーの先生方からご意見をいただいた。冒頭で「誤嚥性肺炎に関するよくある質問」―赤羽先生―、「介護関連スタッフからの質問」―麻植先生―について基礎的な解説をいただいた。

質問用紙にて参加者から多くの質問が寄せられたが時間も考えて 10 の質問（認知症について 2 問、誤嚥について 4 問、食事の工夫や食事介助について、摂食嚥下訓練の具体的方法、摂食嚥下相談窓口など）についてパネリストの先生方に回答していただいた。



次回第 12 回研究会のお知らせ（16：50～）

望月弘彦先生（湘南地区世話人代表）
予定：3 月 3 日（日）場所　鎌倉女子大学講義室

閉会の挨拶（16：55～17：00）

赤羽重樹（横浜北地区世話人代表　西神奈川ヘルスケアクリニック）

神奈川摂食・嚥下リハビリテーション研究会
代表世話人　赤羽重樹
記録　佐藤千秋